



「活きていることわざ」

船橋市議会議員（無所属・4期）

神田 廣栄（かんだひろえい）市議会報告

【事務所】

船橋市前原西 8-24-8

☎047-490-3333

Fax 465-7117

Eメール hiroei@muc.

biglobe.ne.jp

ホームページ <http://www.hiroei.jp>

hiroei.jp

本末転倒・待てば海路の日和（ひより）あり

【本末転倒】◇物事の根本の大切なところと、枝葉のつまらないところと逆さまにすること。

〈解説〉木の本と末を逆さまにする、の意。「転倒」は、もと「顛倒」。

〈類語〉主客転倒。

【待てば海路の日和あり】◇気長に待っていれば、そのうちに好機が訪れるものだ、ということ。

〈解説〉今は天候が悪くて出帆できなくても、しばらく待っていれば船旅の良い天気の日になる、の意。

〈類語〉果報は寝て待て。

〈参考〉「待てば甘露の日和あり」の転じたものとされる。

今年もあと僅かになりました。齢を重ねると一年が短く感じられます。第4回定例会は11月16日に開会し12月21日に閉会となります。来年の4月には、4年に一度、皆様方の審判を仰ぐ統一地方選挙があります。個人的には「第60代議長」も拝命し、多くの経験を積むことができました。さらに、去る11月3日には同期議員6人たちと市政有功表彰を受賞することもできました。まもなく市議会議員として16年目を迎えられることは、偏に皆様方のご支援の賜物と感謝いたし、益々精進してまいります。



さて、来年の10月には消費税率が8%から10%に引き上げられます。最近「プレミアム商品券」や、唐突に出て来た「ポイント還元5%9ヶ月」などが報じられています。全く『本末転倒』と思われる話です。取って付けたような言い訳をしていますが、「だったら引き上げるんじゃないよ」と、多くの方が思っているのではないのでしょうか。一強多弱の弊害のひとつだと思います。

次は、私たち議員の身近な不公平な話です。

私をはじめ多くの市議会・県議会の議員が毎日のように駅前でもノボリ旗を立てて演説したりチラシを配っています。実はこのノボリ旗、政党の名前は大丈夫ですが、議員個人名のノボリ旗は、選挙期間中だけでなく、いつでも立てては公職選挙法違反となります。個人名を一切PRできないことになっていきますから、個人名のタスキも当然違反となります。

〔公職選挙法〕（第143条第16項→公職の候補者等個人の政治活動のために使用される、当該公職の候補者等の氏名又は氏名類推事項を表示した文書図画を掲示すること）の違反行為となります。

私も個人名の入ったノボリ旗を立てていましたから、大きな顔をして意見は言う資格はありませんが……。



船橋市には二つの警察署がありますが、片方の警察署から警告を受けた議員は多数います。他方の警察署管内では誰も注意もされていないようです。

また、大きなポスターがそこかしこに貼られています。個人だけのポスターは選挙前6

ヶ月には撤去しなければならないことになっています。ところが、弁士という二人の写真と名前、政党名が入った2連ポスターは大丈夫なのです。これは演説会の告知用ポスターだから良いのだそうです。よく見ると、小さな文字で、選挙が行われる遙か先の期日に演説会をすると、印刷されています。みんな投票日が過ぎると用済みで撤去しています。

ノボリ旗はポスターの延長で、政党名と二人の写真と名前が入っていても違反にはならないのだそうです。

さらに、選挙の告示もされていないのに、選挙戦さながらに政党の名前だけ入った車で、個人名を連呼して町中を走行している現職議員や立候補しようとしている人を見かけられます。政党の車を利用した売名行為と思われ、これも問題あります。

結局、政党に属さず政治団体もない私も含めて無所属の人は、様々な面で制約があり、不公平感を感じています。



小さな文字で公開討論会の日時



次に皆様が気になっていることをご報告いたします。船橋市都市計画事業の飯山満地区土地区画事業（市施行）についてです。

本事業は、平成4年1月から施行しています。当初は、事業面積が21.4ha、総事業費が109億円でした。ところが、一部土地権利者の同意が得られなく事業が停滞したことや、社会経済情勢の変化で、地価が下落し大幅に※減収になると予測されたこと、一方で、工事費や移転補償費等の増加により事業支出の増額が必要になりました。（精査した結果、事業費が162億円と膨大になることが分かりました）

※減収 区画整理事業は、区画内の土地所有者の協力を得て、道路や公園を整備して元の所有者に返します。道路は広く真っすぐになるし、公園用地等で、元々の土地が減ることになりますが、より評価の高い土地に変わります。事業で捻出された土地は売却して事業費の一部に還元するものです。土地価格が下がることで「減収」という表現になります。

そこで、事業の早期完成と事業支出削減のために、平成27年9月に事業区域を18.5haに縮小し、総事業費を116億円に増額して現在に至っています。

現在、東葉高速鉄道飯山満駅の南側の鬱蒼(うっそう)とした林が伐採、切り土され明るくなりました。ようやく動き出した感じがしています。完成時は南側にある現在の小さなロータリーは少し東側に移動します。（3～5年後）



完成予想図

さらに、コンコース脇にある道路（都市計画道路3・4・27号前原東飯山満町線）の完成は平成35年度、区画整理全体の完成は平成37年度の予定で進めている、とのこと。まだまだ先ですが『待てば海路の日和あり』です。この事業はようやく目に見えるようになってきた感じがします。

そして、駅の北側、現在はURが所有している貯水池が市に移管されて整備されたら、見違えるような飯山満駅となります。是非期待して見守って戴きたいと思います。